

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 30 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県朝倉市
住 所 屋永4288-1
株式会社 川口建設
氏 名 代表取締役 川口 康治
電話番号 0946-22-8097

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

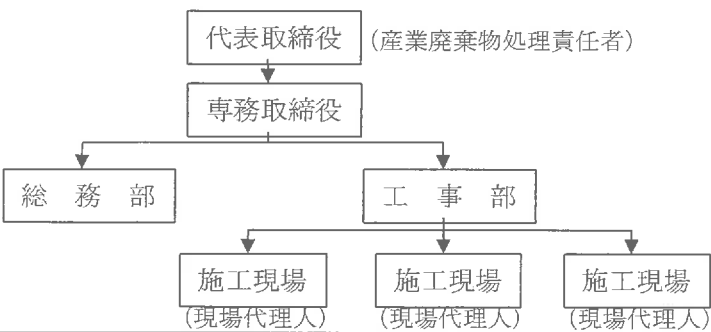
事業場の名称	株式会社 川口建設
事業場の所在地	福岡県朝倉市屋永4288-1
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	元請工事完成高 4.5億円
③ 従業員数	10名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	各施工現場→収集運搬（自社・委託）→中間処理業者→再生利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,190.40 t	174.94 t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	排出量	118.44 t	79.90 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	排出量	14.96 t	4.16 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） 中間処理業者へ委託し再利用を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1,000 t	50 t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	排出量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	排出量	10 t	3 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 中間処理業者へ委託し再利用を行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ がれき類・木くず・建設汚泥・建設混合廃棄物
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ がれき類・木くず・建設汚泥・建設混合廃棄物

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	実施予定なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
	実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施予定なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施予定なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
①現状	全 処 理 委 託 量	1,190.40 t	174.94 t
	優良認定処理業者への 処理委託量の	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量の	1,190.40 t	174.94 t
	認定熱回収業者への 処理委託量の	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	118.44 t	79.90 t
	優良認定処理業者への 処理委託量の	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量の	118.44 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量の	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 中間処理業者へ委託し再利用を行った。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全 処 理 委 託 量	1,000 t	50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量の	t	t
	再生利用業者への 処理委託量の	1,000 t	50 t
	認定熱回収業者への 処理委託量の	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類（石綿含有）	石綿含有産業廃棄物
	全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量の	t	t
	再生利用業者への 処理委託量の	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量の	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量の	t	t
(今後実施する予定の取組) 中間処理業者へ委託し再利用を行う。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目（5品目目から8品目目）

		【前年度（ 5 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
①現状		全 処 理 委 託 量	14.96 t	4.16 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への 処理委託量	14.96 t	4.16 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組) 中間処理業者へ委託し再利用を行った。		
②計画		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	建設混合廃棄物
		全 処 理 委 託 量	10 t	3 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	10 t	3 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 中間処理業者へ委託し再利用を行う。		